

インド通信

2024 年 8 月

玉東町グローバル卒業生

澤村啓之

インド通信第 6 号です。

今回はインドで日本語を学ぶインド人のお話です。

日本人のボランティアが休日を利用してインド人と日本語で交流するイベントがあると聞いて参加してきました。

日曜日の午前、ベンガルールで一番大きい公園に行ってみると、日本人が 10 人位とインド人が 50 人以上集まっていました。

いくつかのグループに分かれて自己紹介をした後、今、地球上で一番問題になっている環境問題についてグループで議論しました。

流暢に日本語を話すインド人ビジネスマンもいますし、たどたどしい日本語で話すインド人学生もいます。

日本語の上手さは関係ありません。日本語で触れ合い、インド人の日本語が少しでも上達し、また、少しでも日本のことを知ってもらうことが狙いです。

グループ討論の後には討論の内容をみんなでポスターにしました。

ポスターを作っている間も、広島、長崎の話とか、日本の受験戦争の話とか色々な話をしました。さすが日本語を勉強したいと志しているインド人です。日本についての質問が次から次へと飛び出していきます。

いい機会だったのでインド人にとって勉強や仕事をする国としてどこが人気なのかを聞いてみました。

答えは英語圏でした。インド人はみな流暢な英語を話します。英語圏は彼らにとって行く先としてハードルが低いのでしょう。

残念ながら大多数のインド人にとって日本はまだ選ばれる国になっていませんでした。

自分も微力ながら草の根外交で日本の人気を広げなければと思ったのでした。



ポスター書きながら意見交換



みんなで記念撮影



グループ発表を聞き入る